

5年生の皆さんへ

NO.3

前回の問題の答えはわかりましたか。答えは、1組③2組②3組③でした！今回は、5年生の先生たちの心に残ったアニメ映画について紹介します。みんなも観たことがあるもの、観たことがないものそれぞれあると思います。先生たちが「ワクワク」したり、「ドキドキ」したり、「考えさせられたり」した映画です。何の映画か、考えてみてください。（答えはまた次回にね♪）

私の好きな映画は、小学生の姉妹と“ふしぎないきもの”が出てくるお話です。

主人公の姉妹はお父さんと一緒に都会から田舎に引っ越しをしてきました。新しいお家はとてもおんぼろ屋敷。まわりには豊かな自然が広がっています。そこで二人は“ふしぎないきもの”に出会いました…。

小さい頃、私もそのふしぎないきものに会いたくて、どんぐりを集めたり、森で遊んだ時はその“ふしぎないきもの”がねているところにつながる道はないか探したりしました。オカリナを買ってもらい、練習したこともありました。

その“ふしぎないきもの”に会うことはできませんでしたが、今でも自然が豊かなところに行くと、「ここにないそうだなあ」と思うことがあります。もしかしたら、本当にいるのかもかもしれませんね。

見るとワクワクドキドキして、森や川などの自然で遊びたくなる、そんな映画です。 5年1組 担任より



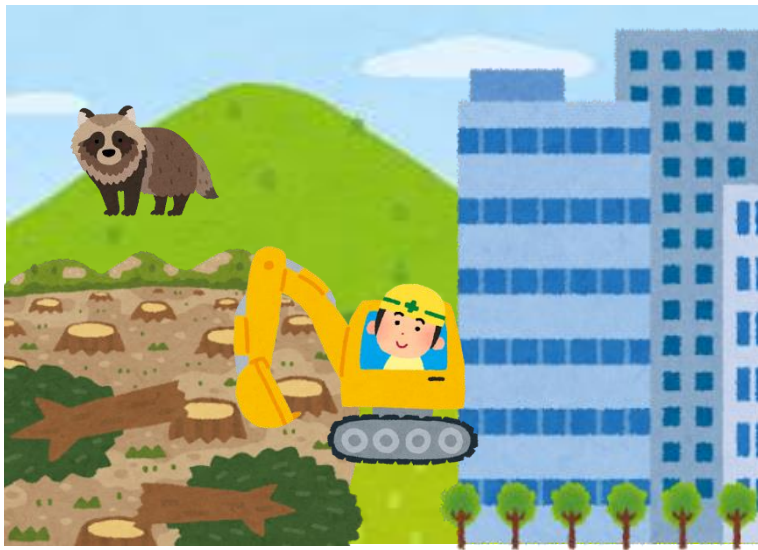
初めてこの映画を観るとき、タイトルから「何だかおもしろそう！」「たぬき同士が戦うのかな？」「たぬきといえば、化かし合い？」なんて想像していました。

たしかに想像したような化かし合いもありました。でも、私の想像と大きく違うことがありました。

たぬきたちは、自分たちのすみかとおとなげの暮らしを守るため、開発を進めようとする「人間」に抵抗していたのです。

この映画を観て、改めていろいろ考えさせられました。自然の大切さもそうですが、私の今の便利で豊かな暮らしは、こうした中で成り立っているのだと…。

この作品の監督は、6年生の国語の教材『鳥獣戯画』を読むの作者でもある高畑勲さんです。みなさんは、どんなメッセージを感じるでしょう。観終わった後だと、エンディングテーマ「いつでも誰かが」の歌詞がより、ぐっと胸に迫ってきます。 5年2組 担任より



小学生の頃にテレビでやっているのを見た映画の中で思い出に残っている作品の一つです。

主人公の少年は、村をおそった化け物と戦い、うでに呪いを受けてしまいます。その化け物は実は動物の神様でした。動物の神様が化け物になってしまった理由と腕にかけられた呪いを解くために、少年は旅に出るのでした。

最初に観たときには、「なんだか怖い映画だな」という第一印象をもちました。しかし、何度も見ていく中で、少年の意志の強さや、人だけでなく動物や神様にも向けられるやさしさなどを感じることができ、どんどん引き込まれて行きました。互いのことが全て分かり合えることはないのかもしれないけれど、多くの出会いや心情の変化が見られる、すばらしい作品です。ちなみに、先生は映画の中に出てくる白い妖精？のようなキャラクターが可愛くて好きでした。

5年3組 担任より

